

令和 7・8 年度 東大阪市中小企業振興会議

第 3 回 労働雇用部会議事要旨

日時	令和 8 年 5 月 1 5 日（金）午後 5 時 00 分 ～ 午後 6 時 30 分
場所	クリエイションコア 研修室 C
出席者	労働雇用部会委員（5 名出席） 衣笠部会長・西松委員・葉山委員・柳沢委員・田中委員 事務局 労働雇用政策室長 宮地・室次長 戸田・総括主幹 山川・主査 津田
案件	【1】 令和 8 年度アンケート調査（案）について 【2】 令和 8 年度新規・拡充事業について 【3】 その他
議事要旨	5 名出席されており、委員の過半数が出席しているため、会議は成立。 ○開会 ○東大阪市中小企業振興会議労働雇用部会委員の紹介 ○案件 1「令和 8 年度アンケート調査（案）について」 ・令和 8 年度アンケート調査（案）について説明 【以下意見】 （委員） Ⅱ 給与・福利厚生についての②の 3 つの選択肢は各項目から選択するのか。 （事務局） 全項目の中から 3 つ選択する。 （委員） 企業向けと学生向けでは選択肢の記号に統一性がない。 （事務局） アンケート内容が固まれば業者へ渡すが、その際に統一されるようにする。 （委員） 学生向けアンケート 4・6・番外編部分について、順位付けをするということは、分析など何か理由があるのか。どういうふうに活用するのか。 （事務局） 単純に 3 つの選択となると学生が選択した上位は分かるが、順位付けすることで本当に学生が必要としている情報を得るために順位付けをしている。 （委員） アンケートⅡ②の項目でリフレッシュがあるが、社員旅行以外にも飲み会やバーベキューといったものを入れてはどうか。会社の社長と話をしても社員旅行をやめてよかった、やってよかったという話も聞くし、飲み会をすることで仲良くなったという話も聞く。 もう 1 つは、企業の情報収集にハローワークを入れてほしい。学生がハローワークをどれくらい利用しているのか知りたい。 （委員） 大企業や中小企業はイメージで答えてもらうということで良いか。

（事務局）

そのとおり

（委員）

情報収集の方法を聞いているが、就活情報サイトにハローワークも入ってくると思う。官民で分けて記載するなどが必要では。また、四季報と有価証券報告書は書いている内容が同じなので、その2つをまとめてハローワークを追加してはどうか。

ある程度種類が絞れるような形にしたほうがいいかなと思う。

企業のホームページと SNS を分けているのはデータが欲しいということか。

（事務局）

それぞれのデータが欲しいため、明確に分けている。

（委員）

それであれば、企業のホームページ、SNS が来ると個別企業のことなので、次は合同企業説明会、そして就活サイトになるかと思う。OB・OG 以外にも大学のキャリアセンターや家族に相談するということもある。

（委員）

ハローワークにも親子や親だけで来るといったこともある。

親が一番身近な大人の方でもあるので、相談しやすい。

BtoB の会社でも CM を行っているところが増えたが、それは親に対して行っているということも聞く。

（事務局）

並び順については、関連性を含め検討する。

（委員）

企業の魅力について、学生からすると企業の魅力について考えたことがあるか分からない。

働いていくうえで大切に思っていることを聞く方が、学生も答えやすいのではないか。

（事務局）

そのように修正する。

（委員）

企業の魅力ではなく就職先を選ぶ際に優先度が下がるという聞き方で、前問と同じ数の選択肢方式にしてはどうか。選択肢については事務局にて考えていただき、委員へ報告してほしい。

（事務局）

そのように修正し、選択肢を検討する。できた際は委員へ報告を行う。

（事務局）

企業向けアンケートについて修正の報告

（委員）

今はアンケートも電子になっているが、紙でのアンケートになるのか。

（事務局）

企業向けのアンケートは紙の方が回収率が高いと聞いているので、紙での回答を考えている。

（委員）

欲しい人材を選択する項目があるが、その下に理由を書く欄を設けることはできるか。

（事務局）

委託事業者と相談し、対応できる場合は理由欄を設ける。

○案件2「令和8年度新規・拡充事業」について

・令和8年度新規・拡充事業について説明

（委員）

女性デジタル人材育成の受講者の8割以上が受講修了とあるが、定員は何人を想定しているのか。

（事務局）

20から25人を想定してるが、企業からの提案方式のため、50人定員でやるという企業が受託すると50人の8割以上になる。

（委員）

デジタルマーケティングとあるが、なぜデジタルマーケティングなのか

（事務局）

企業からヒアリングした際にデジタルマーケティングの説明を聞いたので、例として提示している。実際は提案内容によるため、デジタルマーケティングには限らない。

（委員）

デジタル人材は小さな企業でも欲しいと思うところが多い。AIを使いこなせる人材が欲しいという企業が今後増えてくると思う。出口としての就職先は幅広くマッチングしてもらえれば。

○案件3「その他」

・今後の労働雇用部会のスケジュールについて説明

○閉会